

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2016.3.15 No.257 連絡先 FAX 042-555-1911



3月7日 米韓演習参加の 米本土MV-2 オスプレイ 横田に飛来



3月7日、今年初めて横田基地にオスプレイ2機が飛来しました(写真)。7日11時過ぎに岩国基地に着陸、13時24分と13時32分に岩国基地を離陸。15時27分と15時45分に横田基地に着陸しました。機体番号はYX06とYX12。カリフォルニア州ミラマー基地の海兵

テイルローター中輸送飛行隊所属のオスプレイで、強襲揚陸艦ボクサーの搭載機です。

8日は、オスプレイ1機(YX12)が11時49分に離陸し岩国基地に向かい、新たにオスプレイ1機(YX05)が15時37分、横田に着陸。この機体はボクサーから飛来したと思われます。その後、離着陸あり。普天間配備以外のオスプレイが、横田に飛来したのは初めてのことです。

3月7日～4月30日 米韓が最大規模演習 北朝鮮「総攻撃に入る」



米韓合同軍事演習は、毎年春に行っていますが、今年は米軍約1万7000人、韓国軍約30万人が参加する過去最大規模の演習です。演習は3月7日から4月30日まで行われます。演習は指揮系統を確認する「キーリゾルブ」と、野外起動訓練「フォールイーグル」を実施します。従来演習の最後に行われていた上陸作戦(双竜演習)が冒頭から行われます。これには、最新鋭のステルス揚陸艦を含むボクサー遠征打撃群が投入されるとともに、佐世保を母港とするポノムリシャールの揚陸艦隊が参加します。(写真、強襲揚陸艦ボクサー。米軍HPより)

韓国メディアによれば、同訓練では北朝鮮への先制攻撃を念頭に置いた新作戰計画「5015」が適用されます。北朝鮮に核兵器を使う兆候が見られる場合、特殊部隊が承認権を持つ人物を排除する「斬首作戦」訓練も行うとしていました。北朝鮮の国防委員会は7日、演習を非難する声明を発表。声明は、軍事演習には米航空母艦や戦略爆撃機が投入され、北朝鮮の最高首脳を狙う「斬首作戦」も含まれていると指摘。北朝鮮の軍事対応措置は「さらに先制的かつ攻撃



的な核打撃戦になる」と強調。核攻撃手段が常に発射待機状態にあると主張。「斬首作戦」については韓国国防部は否定しました。

在日米軍司令官がキーリゾルブ初日に烏山訪問



3月7日キーリゾルブ初日に、ドーラン在日米軍兼第5空軍司令官が韓国の烏山を訪問しました(左写真、米軍HP)。米韓合同軍事演習といっても米軍基地がある日本が足場にされます。横田のC-130輸送機も早速、米韓合同軍事演習に参加しました(左写真、米軍HP)。ドーラン司令官の烏山訪問は、在日米軍が米韓演習に果たす役割を示す象徴的な出来事では無いでしょうか。米軍基地NO!

横田地所属UH-1Nヘリコプター 調布飛行場に緊急着陸 (No. 257 裏面)

2月29日7時40分頃、米軍横田基地所属のUH-1ヘリコプターが調布飛行場に緊急着陸しました。都内へ輸送中の9名の搭乗員は、別のヘリで輸送されました。米軍はエンジン警告灯が点灯したため予防着陸したとし、できる限り早く横田基地に帰還できるよう尽力していましたが、3月4日ようやく横田基地に帰還しました。原因は、何だったのでしょうか。

UH-1ヘリは、2011年にも警告灯が点灯したため、調布飛行場に緊急着陸しています。

横田基地のUH-1Nヘリコプター2機に 救助用ホイストを装備



2月23日、米軍横田基地の第459空輸中隊は、UH-1ヘリコプター2機に救助用ホイスト（ワイヤーを使用した昇降装置）を装備したそうです。「ホイストを使えば、山の斜面から人を吊り上げ、建物の屋上に届けることまで可能となり、能力を大幅に広めた」と第459空輸中隊特殊任務飛行班のニコラス・ポー軍曹はコメントしました。

(写真:米軍横田基地 HP より) 特殊任務操縦士は、ホイストを使用するための初期認定を取得した後も、技術を維持するために訓練を継続しなければなりません。「本国の基地や戦地で経験してきた救難救助活動を横田で実践する機会を得たことはとても幸運だ」と第374運用群特殊任務飛行班の技能軍曹は語っています。戦場での技術を向上させているのですね。今回、再認定を下すため、カークランド空軍基地第512救難中隊（ミネソタ州）とフェアチャイルド空軍基地第36救難中隊（ワシントン州）から、特殊任務飛行班が横田基地に出向しました。

キーンエッジ16 ハワイの613航空作戦センターがミサイル防衛で参加



キーンエッジ16は、2月2日まで市ヶ谷や横田を中心に行われました。この演習に、ハワイのパールハーバー・ヒッカム統合基地の第613航空作戦センターが参加していました。米太平洋軍HPに横田基地格納庫内でのメンバーの写真(右)が載っていました。

この演習中、カナメになる問題は、弾道ミサイル防衛、非戦闘逃避作戦、武力防衛、そして宇宙空間管理計画だったようです。

人員降下・物資投下 横田基地でも東富士演習場でも



3月2日9時半頃、横田基地で高度500mと2000mからの人員降下訓練を確認。16時44分には2機編隊でそれぞれから砂袋の投下が行われました。

また、米軍横田基地HPには、「第374作戦支援飛行中隊任務として、生き残り、逃避、抵抗、逃亡作戦は、3月2日、C-130から高高度、低開口ジャンプなどパラシュート降下した」と書かれています。他の訓練の様子もアップ。

一方、3月3日の同HPでは、2月1日、横田基地でパラシュートの修理やパレットの準備をしたり、2月2日に富士演習場でパレットやパラシュートを回収する写真が掲載されています。

3月15日 東富士演習場でオスプレイ2機 離発着訓練の情報

防衛省南関東防衛局は3月4日に「お知らせ」し、東富士演習場の地元自治体に対しては3月9日「3月15日(火)7時～22時の間に、オスプレイ2機が東富士演習場において、離発着訓練を実施する」との情報提供があったそうです。米韓演習参加のオスプレイが訓練するのか。